

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市将監児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 20,058人(前年度比 108.5%) 令和3年度 18,481人 令和2年度 15,296人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 36,464千円 (37,688千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「家庭と協力しながら、自分の気持ちを表現し、地域の一員として自立して生活する力を育む」を重点目標に掲げ、日々の運営に取り組みました。感染対策を取りながらより良い日常の遊びや交流活動を模索し工夫して活動を進めました。</p> <p>児童健全育成事業では、カレンダー作りやヒップホップダンスの行事を子育て支援クラブと共催しました。コロナ禍で停滞していた支援クラブの本格的な活動により、子どもたちと共に会員の皆さんのいきいきとした姿が見られました。3年ぶりの「かっきーランド」を企画し多くの中学生ボランティアの協力のもと、遊びを通して地域の方と交流することができました。子育て家庭支援事業では、隣接のコスモス将監保育園や併設のサンホームとの連携行事を実施したり、子育て相談の機会を設けたりしました。子育て支援クラブ、人形劇サークル、読み聞かせボランティアとの共催行事「かっきー広場」などを通して親子のふれあいと癒しの時間を確保しました。地域交流推進事業では、将監児童センター、将監西児童館と3館で協力して「ドキドキタイム」の企画を行いました。将監児童センターを会場に、講師を招いた音楽会や正月遊びなどの行事を通して地域の多くの方々との交流できました。地域在住の方を講師に、小学生を対象としてタヒチアンダンスや造形遊びなど、自己肯定感を高める魅力ある活動を実施しました。放課後児童健全育成事業では、子どもたちが自分の思いや考えを相手に伝えることを通して、コミュニケーション能力を高めることを目標に取り組みました。4月のオリエンテーションや毎日の帰りの会等を活用し、様々な言葉遊びや読み聞かせなどを年間を通して力を入れて実施しました。「児童クラブ説明会」では、児童館をより知っていただくため、動画などを利用して子どもたちの様子をわかりやすく説明した他、玄関に定期的に写真を掲示して、日常の様子が見られるように工夫しています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、令和4年度再開した中学生ボランティアが「かっきーランド」のコーナー運営や「中学生とあそぼう」の卓球を通じた小学生との交流等、乳幼児親子や小学生、地域の方と交流を通して積極的に活動の幅を広げた。また地域の人材を生かした造形、タヒチアンダンス等の体験活動は子ども達の豊かな感性を育てている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、定例行事のサンホームとの連携をはじめ、令和4年度からは共催で保護者向けの勉強会を開催し、発達に不安を抱える保護者や育児不安等に関する相談の場のニーズの高さを再確認出来た取り組みとなった。サンホームの併設を強みに積極的に連携しながら包括的な相談窓口としての役割を果たしつつ、多様な取り組みで地域の子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、市民センターへの館庭のあけびの蔦で作ったリースの展示や近隣の児童館・地域の協力体制のもと季節の行事や伝統行事等を通して多世代間交流が盛んに行われている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、様々な動と静の遊びを取り入れて、丁寧にルールの確認や話し合いをしながら日々の遊びの充実を図り、子どもの主体的な生活が可能となるように支援している。また帰りの会で言葉遊びを取り入れて語彙力を高める取り組みを行い、学年や場面にあった話し方の手本を示しながら、子どもが自分の言葉で気持ちを表現する力を育てている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課